

I. C. W. A. NEWS

第 22 号

昭和 57 年 5 月 20 日

責任者 杉山龍丸

福岡市中央区大名 1 丁目 12 第 24 号

国際文化福祉協会出版局

〒810 TEL (092) 771-0427

○砂漠・乾燥地域の緑化は可能であり、事実である。

国際文化福祉協会（財団法人・国際砂漠緑化協会創立準備委員会）は、昭和 36 年（1961）以来、インドの砂漠化の問題の解決に努力していたが、本年、ランドサット・宇宙衛星の写真により、パンジャブ州における植林した地域の解明をした結果、この植林によって、砂漠化状況が消滅し、緑化に成功していることが事実として明らかになった。

隣のハリアナ州では、植林をしていなかったことにより、砂漠化が進展していることも明らかになった。

この事によって、日本国民が信じている、治山治水は、植林する事であることは事実であり、このことは、砂漠・乾燥地域にも適用出来ることだが、事実として証明された。

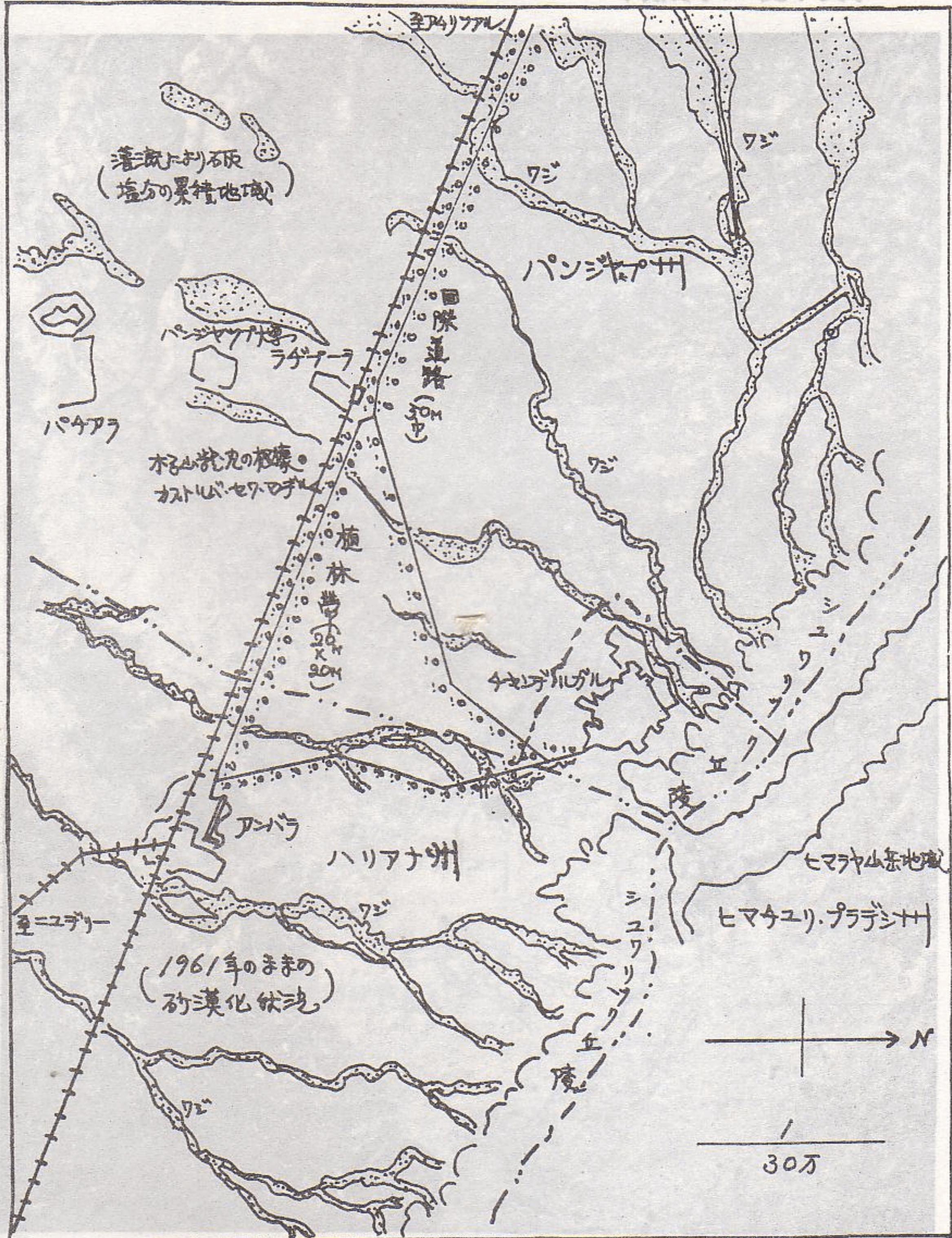
世界の大半の 50% ある、砂漠・乾燥地域の大半は、日本国民の持つ、植林による、治山治水の技術によって、緑化が可能であり、これによって、世界の食糧生産問題についての解決が出来て、世界の平和と、人類の生きる希望を与えることになると考えられる。

○昭和48年(1973)3月3日のラントサットの宇宙衛星写
真(麦の成育期)



○昭和48年(1973)3月33日のランドサットの宇宙衛星の
写真解明地図

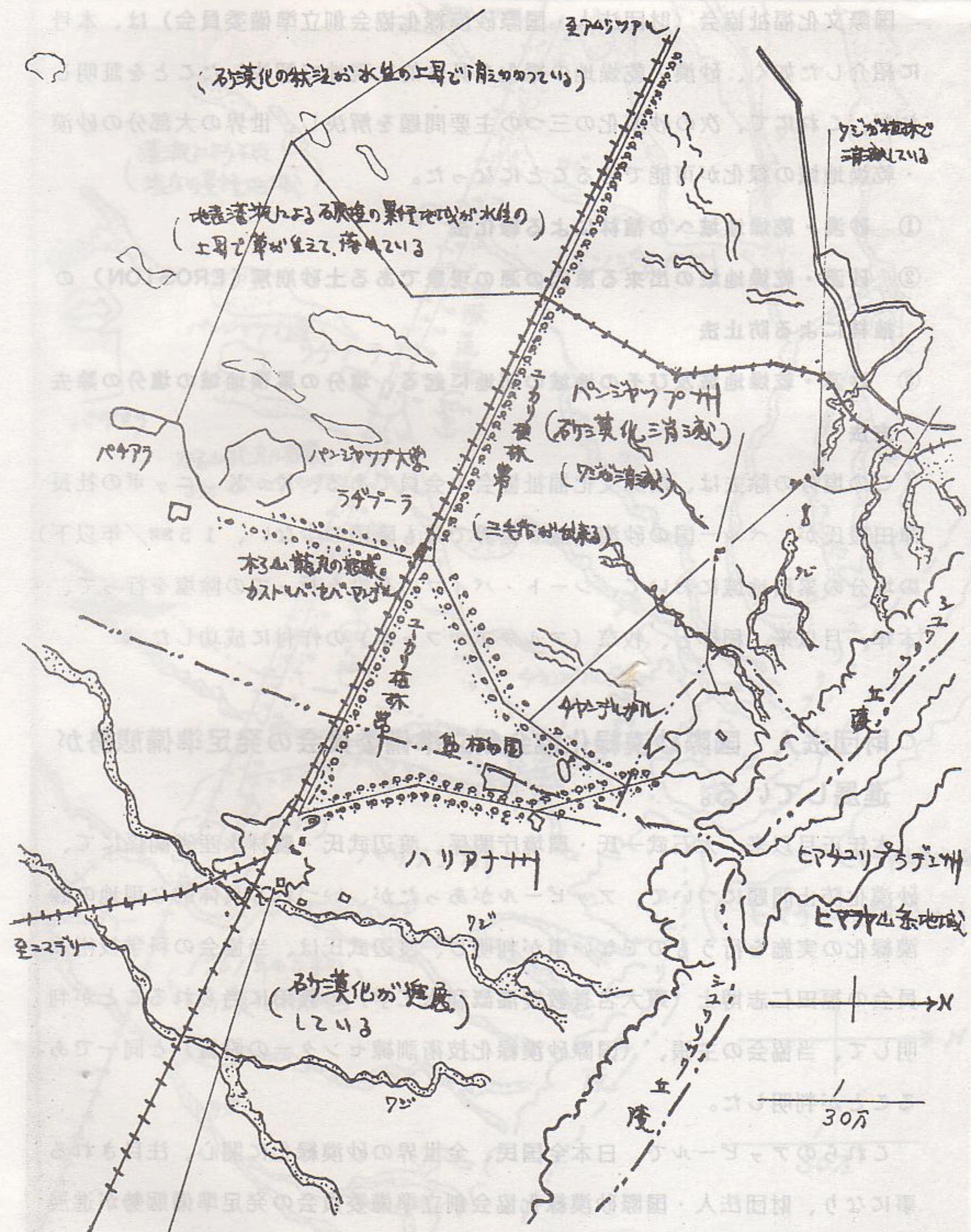
(参考地図の上)実測



○昭和 54 年(1979) 4月 22 日のランドサットの宇宙衛星の
写真(麦の刈取後)



○昭和 54 年(1979)4月22日のランドサットの宇宙衛星の
写真解明地図



○国際文化福祉協会（財団法人・国際砂漠緑化協会創立準備委員会）は、砂漠化の主要問題を解決出来ることになった。

国際文化福祉協会（財団法人・国際砂漠緑化協会創立準備委員会）は、本号に紹介した如く、砂漠・乾燥地の緑化を具体的に現地で解決したことを証明したが、これにて、次の砂漠化の三つの主要問題を解決し、世界の大部分の砂漠・乾燥地域の緑化が可能であることになった。

- ① 砂漠・乾燥地域への植林による緑化法
- ② 砂漠・乾燥地域の出来る原因の源の現象である土砂崩解（EROSION）の植林による防止法
- ③ 砂漠・乾燥地域及びその地域の耕地に起る、塩分の累積地域の塩分の除去方法

（この塩分の除去は、国際文化福祉協会の会員である、K.K.ニッポの社長津田豊氏が、ペルー国の砂漠地域（世界で最も降雨の少ない、15mm／年以下）の塩分の累積地域において、シート・パイプの布設を行っての除塩を行って、本年一月以来、稻作と、牧草（アルファアルファ草）の作付に成功した。）

○財団法人・国際砂漠緑化協会創立準備委員会の発足準備態勢が進展している。

本年正月以来、大石武一氏・環境庁関係、渡辺武氏・農林水産省関係にて、砂漠化防止問題について、アッピールがあったが、いづれも具体的な現地の砂漠緑化の実施を行うものでない事が判明し、渡辺武氏は、当協会の科学技術委員会の福田仁志博士（東大名誉教授灌漑利水工学）の義弟に当られることが判明して、当協会の主張、（国際砂漠緑化技術訓練センターの設置）と同一であることが判明した。

これらのアッピールで、日本全国民、全世界の砂漠緑化に関心、注目される事になり、財団法人・国際砂漠緑化協会創立準備委員会の発足準備態勢が進展

しつつある。本並のへ冊両の翻訳翻案の紙にて、さざなわのうべト。

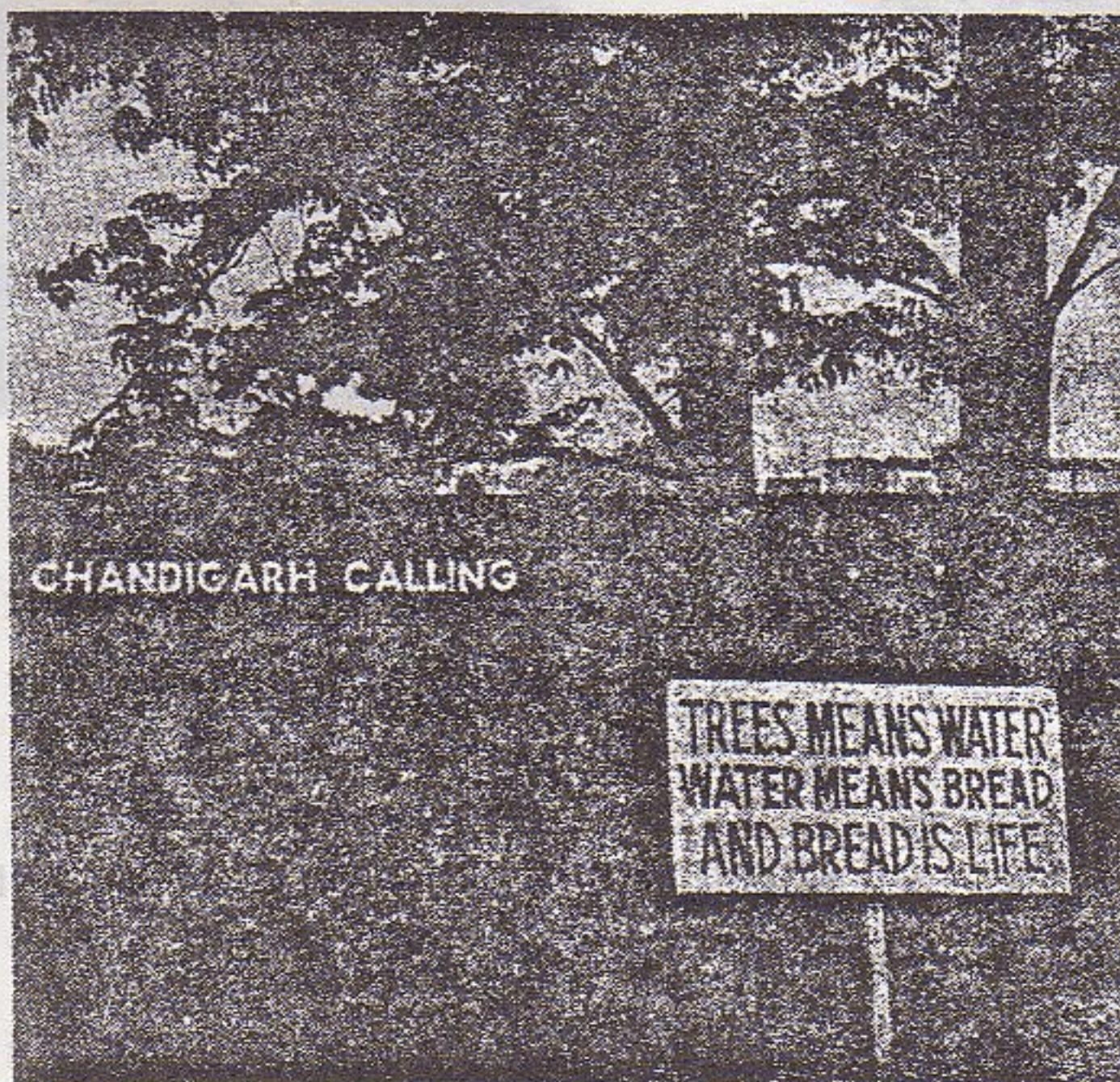
○財団法人国際砂漠緑化協会創立準備委員会よりのお願い。

この財団は、世界の食糧問題を解決して、人類の生きる道を拓くものであり、それに、日本国民の治山治水の植林による方法を、世界に生かし貢献する人材を養成するために、役立たせるものであります。

そして、日本国民の自由な、自発的な協力、援助によって行い、現在の行政改革（日本政府）と別個のものであり、国際連合の総事務局長の賛成によるものでありますので、何卒、積極的に御参加をお願いします。

○インドのパンジャップ州の標語

首都 チャンデルガル市の呼びかけ



(インド・パンジャップ州、トリビューン紙 1979年6月25日水曜日版より)

「樹は、水を意味する。水は、パンを意味する。

そして、パンは我々の生命である（養う）」

○インドのパンジャップ洲の国際道路の両側への並木植林



① 国際道路は、ニューデリーより、アンバラ市（ハリアナ洲）→アムリツアル市（パンジャップ洲）に至り、パキスタンのラホール市から中近東ヨーロッパへ通じる道路、アンバラ・アムリツアル間約300 km 道幅50 m 4車線の道路

② 植林の状況

植林の種類、ユーカリ樹UCRIPTES TREE（学名BUTEA MONOSPERMA?）
植林の状況、2~4 m 間隔、道路の両側幅20 M、

③ 植林の経済性

一本の苗木約10円、植林費5円（運搬費共）3年生一本10M高さ、樹幹直径15~20 cm 約3.000円、パルプ材及び家具に使用可能、アルカリ性土壤を酸化し中和する。